



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年1月31日
上場取引所 東

上場会社名 神戸電鉄株式会社
 コード番号 9046 URL <https://www.shintetsu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺田 信彦
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部 部長 (氏名) 坂本 義之 TEL 078-576-8671
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	15,907	3.7	1,558	23.0	1,241	29.3	982	32.2
2022年3月期第3四半期	15,346	—	1,267	—	960	—	743	—

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 1,064百万円 (53.3%) 2022年3月期第3四半期 694百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	122.30	—
2022年3月期第3四半期	92.47	—

(注) 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	90,137	21,689	24.1
2022年3月期	92,351	20,626	22.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 21,689百万円 2022年3月期 20,626百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,640	5.5	1,500	40.8	930	42.6	590	13.7	73.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	8,061,566株	2022年3月期	8,061,566株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	25,228株	2022年3月期	24,592株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	8,036,681株	2022年3月期3Q	8,037,497株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページにも掲載することとしています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. 運輸成績	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に関する行動制限の緩和等により社会経済活動に回復の兆しが見られるものの、不安定な国際情勢によるエネルギー価格及び原材料価格の高騰や急激な円安の進行など、先行きに不透明感が続く状況で推移しました。

この間、当社グループにおいては、各部門において増収やコストの削減に努めた結果、当第3四半期連結累計期間の業績は次のとおりとなりました。

すなわち、営業収益は15,907百万円となり前年同期に比べ561百万円(3.7%)増加、営業利益は1,558百万円となり前年同期に比べ291百万円(23.0%)増加、経常利益は1,241百万円となり前年同期に比べ281百万円(29.3%)増加、親会社株主に帰属する四半期純利益は982百万円となり前年同期に比べ239百万円(32.2%)増加しました。

当第3四半期連結累計期間のセグメント別の概況は次のとおりであります。

運 輸 業

鉄道事業においては、「安全の絶対確保」を図るため、安全管理体制のさらなる整備・充実に取り組んだほか、「鉄道軌道安全輸送設備等整備事業」等の補助を活用しながら、軌道の強化等の工事を推し進め、運転保安度の一層の向上に努めました。また、リニューアル工事を進めている有馬線花山駅の新駅舎は2022年11月に、有馬線大池駅の上りホーム側駅舎は12月に供用を開始するとともに、それぞれの駅前広場等については、2023年3月の供用開始に向けて工事を進めております。

営業活動については、2022年11月から有馬温泉への旅客誘致施策として「恋たび有馬」キャンペーンを開催し、「有馬グルメ&湯けむりチケット」の発売や恋活列車の運行、有馬温泉駅の駅名板のリニューアル等を実施しました。

また、駅舎と駅周辺の土地の活用を図る「#駅活~Challenge~」やアウトドアを通じた当社沿線の地域活性化を図る「KOBE Rail&Trail」等の沿線自治体や地域の皆様と連携したプロジェクトを推し進め、沿線の活性化や鉄道の利用促進に取り組んでおります。

バス事業においては、企業や学校の貸切送迎業務をはじめ積極的な営業活動を展開し、増収に努めました。

タクシー業においては、乗務員の採用に注力し、稼働率の向上に努めました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の運輸業の営業収益は9,298百万円となり、前年同期に比べ735百万円(8.6%)増加し、営業利益は725百万円となり、前年同期に比べ338百万円(87.3%)増加しました。

不 動 産 業

土地建物賃貸業においては、既存物件へのテナント誘致を進めるとともに、2022年9月に収益の拡大を図るため新規物件(兵庫県伊丹市)を取得し賃貸を開始しました。

また、土地建物販売業においては、2022年11月に神戸市北区の販売土地を売却しました。

なお、神戸市及び神戸市道路公社から管理運営業務を受託している「神戸市立三宮駐車場(神戸市中央区)」他5施設について、円滑な運営に努めております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の不動産業の営業収益は1,515百万円となり、前年同期に比べ19百万円(1.2%)減少し、営業利益は709百万円となり、前年同期に比べ17百万円(2.3%)減少しました。

流 通 業

食品スーパー業においては、青果部門を中心とした生鮮部門の品揃えを強化するなど、販売促進策を各店舗で積極的に展開しました。また、2022年5月に「神鉄食彩館北鈴店(神戸市北区)」のリニューアルを行うとともに、4月に営業を開始した移動スーパー「とくし丸」については、11月より新たに2号車を運行するなど、収益の拡大に努めました。

コンビニ業及び飲食業においては、各店舗で増収に努めました。

しかしながら、エネルギー価格や食料品価格の高騰に伴う消費者の買い控え傾向、競合の激化等により、当第3四半期連結累計期間の流通業の営業収益は3,737百万円(前年同期比6.5%減)となり、営業損失は3百万円(前年同期は営業利益35百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、有形固定資産が減少したこと等により前連結会計年度末に比べ2,214百万円減少の90,137百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、買掛金及び借入金が増加したこと等により前連結会計年度末に比べ3,276百万円増加の68,448百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い、利益剰余金が増加したこと等により前連結会計年度末に比べ1,063百万円増加の21,689百万円となり、自己資本比率は24.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月12日発表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,262	1,397
受取手形及び売掛金	1,284	1,123
短期貸付金	69	59
販売土地及び建物	279	279
商品	121	127
貯蔵品	396	502
その他	2,576	1,242
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	5,988	4,731
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	41,519	40,523
機械装置及び運搬具(純額)	5,434	5,038
土地	34,691	34,923
建設仮勘定	240	545
その他(純額)	551	520
有形固定資産合計	82,436	81,551
無形固定資産		
その他	577	520
無形固定資産合計	577	520
投資その他の資産		
投資有価証券	1,126	1,038
長期貸付金	352	313
退職給付に係る資産	1,419	1,557
その他	468	442
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	3,348	3,334
固定資産合計	86,362	85,406
資産合計	92,351	90,137
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,692	1,080
短期借入金	29,298	22,155
未払法人税等	91	129
前受金	975	1,053
賞与引当金	49	19
その他	2,634	3,141
流動負債合計	35,741	27,580
固定負債		
長期借入金	29,539	34,580
繰延税金負債	255	362
再評価に係る繰延税金負債	3,471	3,471
退職給付に係る負債	108	113
長期未払金	812	644
長期預り保証金	928	937
その他	866	757
固定負債合計	35,982	40,867
負債合計	71,724	68,448

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,710	11,710
利益剰余金	6,974	7,957
自己株式	△88	△90
株主資本合計	18,596	19,577
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	250	348
繰延ヘッジ損益	0	0
土地再評価差額金	1,503	1,503
退職給付に係る調整累計額	275	259
その他の包括利益累計額合計	2,029	2,111
純資産合計	20,626	21,689
負債純資産合計	92,351	90,137

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
営業収益	15,346	15,907
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	12,165	12,445
販売費及び一般管理費	1,912	1,903
営業費合計	14,078	14,349
営業利益	1,267	1,558
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	27	31
受託工事事務費戻入	10	80
雑収入	194	46
営業外収益合計	233	158
営業外費用		
支払利息	437	421
雑支出	102	53
営業外費用合計	540	475
経常利益	960	1,241
特別利益		
工事負担金等受入額	—	12
特別利益合計	—	12
特別損失		
工事負担金等圧縮額	—	12
特別損失合計	—	12
税金等調整前四半期純利益	960	1,241
法人税、住民税及び事業税	109	166
法人税等調整額	108	92
法人税等合計	217	258
四半期純利益	743	982
親会社株主に帰属する四半期純利益	743	982

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	743	982
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20	98
繰延ヘッジ損益	△0	△0
退職給付に係る調整額	△27	△15
その他の包括利益合計	△48	81
四半期包括利益	694	1,064
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	694	1,064
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	運輸業	不動産業	流通業	計				
営業収益								
(1) 外部顧客への営業収益	8,550	1,356	3,987	13,894	1,452	15,346	—	15,346
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	13	177	7	198	707	906	△906	—
計	8,563	1,534	3,995	14,093	2,159	16,253	△906	15,346
セグメント利益	387	726	35	1,150	127	1,278	△10	1,267

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保育事業及び健康事業並びに建設業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△10百万円は、主にセグメント間取引であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	運輸業	不動産業	流通業	計				
営業収益								
(1) 外部顧客への営業収益	9,282	1,364	3,729	14,376	1,531	15,907	—	15,907
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	16	150	8	175	728	904	△904	—
計	9,298	1,515	3,737	14,551	2,260	16,811	△904	15,907
セグメント利益又は損失(△)	725	709	△3	1,431	108	1,539	18	1,558

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保育事業及び健康事業並びに建設業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額18百万円は、主にセグメント間取引であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 運輸成績

		当第3四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	前第3四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	増減率
輸 送 人 員		千人	千人	%
	定 期 外	13,257	11,413	16.1
	定 期	26,464	25,623	3.3
	計	39,721	37,037	7.2
旅 客 収 入		百万円	百万円	%
	定 期 外	3,071	2,656	15.7
	定 期	3,044	2,983	2.1
	計	6,116	5,639	8.5

(注) 輸送人員は千人未満を、旅客収入は百万円未満をそれぞれ切り捨てて表示しております。